



令和元年 7 月 1 日現在
世帯数 2,842 世帯
男 3,298 人
女 3,462 人
総人口 6,760 人

福祉ひろば 小学校3年生との交流

7月10日(水)のふれあい健康教室は三の宮公民館で島立小学校三年一組の児童30名を迎えて「七夕交流会」を行いました。

まずは発声練習。元コーディネーターの月さんのハーモニカの伴奏に合わせて「笹の葉さらさら…」と七夕の歌を歌い、健康教室に参加した地域の方と茶摘みを歌いながら手遊びをしました。

次に三年生が米津玄師の「プリカの合唱とグリーン」のあうえおんがくのダンスを披露してくれました。元気いっぱい歌声に元氣をもらいました。



その後、子どもも大人も障害の有無も関係なく一緒に楽しめ、パラリンピックの種目としても注目されている「ボッチャ」を体験しました。的のボールをめがけて赤と青のボールを投げて得点を競うゲームです。的に近づけるのが意外と難しく、投げたり転がしたりいろいろと工夫しながら盛り上がりました。

最後に願いをこめた短冊を飾り、健康づくり推進員の方々に作っていただいた郷土食の七夕ほうとうを食べ、とても楽しい時間を過ごしました。

ふれあい健康教室は毎月福祉ひろばで行われています。誰でも参加できます。来月は8月7日に夏休みの子どもたちとの交流です。ぜひ出かけてみてくださいます。笑顔と元氣をもらえますよ。

島立小学校運動会

前日の雨も上がり、爽やかな朝を迎えた6月1日(土)島立小学校の運動会が開催されました。

校庭を囲む保護者・地域の応援団の見守る中、紅組白組の一進一退の攻防が続きました。応援席の大人も参加した大玉送りでは、大玉の行方に



一喜一憂。大いに会場を賑わせました。運動会の花形の一つ騎馬戦は、会場の緊張感が特に高まり、注目を集めます。両軍の作戦も見どころで、全体を見渡した駆け引きが見られる事も楽しみです。

いよいよ騎馬同士が接近すると、子どもたちからも応援席からも黄色い悲鳴が飛び交います。引き分けて迎えた大将



戦の一騎打ちが決着すると、会場全体からオーという唸り声が響き渡りました。終盤には、5・6年生の取り組む組体操がありました。ギリギリと灼ける校庭の上で、全身を使って人類の営みの歴史を振り返り、新時代に向けた願いを表現しました。選手を後押しする可愛い声の応援、力の入った応援が入り混じって盛り上がりを見せる様子も、小学校運動会の醍醐味です。春から取り組んだ練習の成果を発揮し、力いっぱい運動会が終了しました。

堀米保育園

野菜苗植え

5月28日(火)、堀米保育園の園児たちが地元の方よりお借りした畑にさつまいも、きゅうり、なす、小玉すいかなどの苗や種を植えました。指導や管理をお手伝いして下さるのは堀米町会の福寿会の皆さんです。この日は朝からどんよりとした曇り空でしたが雨が降る前に手際良く苗や種を植えることが出来ました。植えた後はお手伝いして下さった福寿会の皆さんと給食を食べ、親睦を深めました。園児たちはおいしい野菜の収穫をとっても楽しみにしています。



寺子屋大庭未来塾



田植え

6月9日(日)大庭町会の水田にて、この頃見る事が少なくなってきた手植えで餅米の苗を植えました。

昨年は、子どもとその保護者が参加し開催しましたが、今年は松本大学の学生さんも加わり賑やかに行いました。手に苗を持ち、子どもと学生が交互に並び、普段感じることの少ない泥の感触を感じながら横に張られた紐の所に餅米の苗を植えました。天気にも恵まれ田植えは1時間ほどで終了し、泥だらけになっただ子どもたちも満足そうな笑顔浮かべていました。その後大庭公民館にて昨年収穫した餅米で作った赤飯を食べ解散となりました。今後は、秋に刈取り・脱穀体験があります。

沙田神社「茅の輪」くぐり



島立地区一斉清掃実施

梅雨入りした最初の日曜、6月9日に各町会で実施されました。小柴町会では例年国道158号小柴信号機を中心、東西、南北道路の草取り、ごみ拾いをし、松本インターから小柴信号機迄の南北の歩道上にあるプランターにサルビア、ペゴニア等の苗を植栽しています。公民館に集められたごみ袋は軽トラ3台分以上となり成果が実感できました。今回の作業には町会住民のほぼ全戸にあたる123名が参加しました。



6月28日(金)に三の宮・中村の氏子総代の皆さんが、「茅の輪」を作りました。

梅雨模様の朝、島立地区内より、軽トラ3台一杯分の茅を刈り集め、集めた茅を直径約15mの円形の枠に編み込み、茅の輪に仕上げていきます。

茅の輪は、備後の国の蘇民将来(そみんしょうらい)がスサノオノミコトから譲られた茅の輪により疫病から逃れることができたという伝説に由来しており、神道の夏越し(なごし)の祓えの儀式に用いられます。



作り上げられた茅の輪は、拜殿に安置され、6月30日(日)に斎行された水無月の大祓祭の際、参拝者が神職の指示に従って8の字を描くように3回くぐり、心身を清め、無病息災を祈願しました。祭祀が終了した後、茅の輪は拜殿の前に移され、7月4日(木)までの間、参詣者が興味深げに、また、それぞれの祈りを込めて、茅の輪をくぐり、ご神前に参拝していただきます。

